

木造住宅建築工事業者の経営改善支援

企業紹介

株式会社バイオ・ベース

- 代表者：遊野(しめの) 遙夫
- 所在地：下伊那郡阿智村春日
3071-3
- 従業員数：2人
- 事業内容：木造住宅建築工事
- 連絡先：0265-43-2458

支援を受けて

モノを創ることが好きなあまり、現場におわれがちで、仕事の成果を振り返ることができずにいた処を、会計処理から工事原価管理に至る手順をご支援いただいた。PCを使うことは苦手ではなかったのですが、最初は手間取ったが、徐々に数字の動きがわかってきて楽しくなった。わからないことも親切丁寧に指導いただいた。

今後は、在庫管理、作業効率も精査しながら、働きやすいものづくり環境を作ってゆきたい。



遊野 遙夫氏

支援概要

■企業の現状・課題及び支援の経緯

当社は、木造住宅建築工事、住宅リフォーム工事および天然木材の販売事業を行っている。社長が営業、設計、積算、工事現場管理、事務業務全般を行い、従業員2名(大工棟梁と大工)と外注業者で現場施工を行っている。

当社は、県内に山林を所有しており、県産木材を低コストで調達でき、加工も自社工場で行うため丸太材木を無駄なく住宅建築に使用することが可能である。

社長は、大手メーカーや一般工務店が施工する「新建材の家」を否定し、低温乾燥木材を用いた自然素材の住宅建築にこだわりを持っている。

上記のとおり、社長ひとりで業務を切り回している中、トラブルが続き、赤字体質が改善されない状況において、原価管理を適切に行い、適正な利益を確保して経営改善を行うことが、喫緊の課題である。また、従業員の高齢化および社長自身も体力的な衰えからの生産性の低下を自覚しているとのことで、現棟梁の大工技能の継承を含め人材確保が必要となっている。

■実施した支援内容

・工事原価管理

当初経営改善において、何から手を付けてよいかわからない状況の中、工事毎の原価管理の必要性を認識してもらい、継続した支援において現場経費等の仕訳、工事進捗状況および完成工事、未成工事の確認を行い、工事予算と最終収支結果の比較ができるように支援を行った。

・住宅関連助成金活用による顧客獲得のための各種助成金制度の紹介と申請に係る支援

当事業者の強みである県産材の活用においては、県産材の使用で助成額が加算される長野県建設部の住宅助成制度および長野県林務部の県産材活用支援制度を紹介し、申請における支援を行った。

・人材確保のための就業規則(賃金体系)の整備支援

優秀な人材を確保する点で就業規則、特に現在の従業員の給与と矛盾が生じない賃金体系の整備が必要であり、全国の建設業の給与水準データの提供等、基本給および諸手当の設定の支援を行った。

支援の結果及び今後の展開等

社長一人で日常業務を切り回している中、継続した支援により、経営改善に向けての工事原価管理の意識が高まってきていると考える。今後もさらに踏み込んだ原価管理が必要と考える。また、住宅助成金は施主が受けられるもので、事業者は申請業務が負担となるが、助成金活用の提案、申請業務を行うことによる顧客サービスが顧客の信頼を得ることになり、施主の紹介で顧客を獲得し、受注増につながっている。

支援を実施して

受注は順調に伸びているものの建設業全体が高齢化と人材不足が問題となっている業界であり、当事業者においても人材確保が喫緊の課題です。収益のさらなる向上と職場環境の向上を図ることにより、働き甲斐のある企業としていくことが、人材確保において重要と考えます。



上席専門経営支援員
内田 希一



阿智村商工会
主任経営支援員 今井 毅